

【奨学金・進学資金】についてのお知らせ ②

2026.7 岸和田市教育相談室

こんなふうにお考えではありませんか？

◇ 必要な学費は、公立でも私立でも、そんなに違いはない。

⇒ 無償化対象外の「入学金」を比べると、府立高校（全日制）で5,650円、私立高校では10万～30万円。学習用端末（タブレット）は、公立高校では無償貸与ですが、私立高校では指定機種の購入が必要な場合があるなど、公立と私立では、学費は大きく違います。 高校1年生の1年間で必要な学費は、**公立高校で30万円以上、私立高校なら80万円以上になる場合があります。**



◇ 通信制や定時制の高校は、お金がかからない。

⇒ 定時制・通信制では、全日制に比べて、授業料以外の学費も低く設定されています。しかし、私立の通信制高校では、毎週、登校するコースや修学のためにサポート校を利用する場合など、様々なコース・選択肢があり、結果として学費の総額が高額になる場合もあります。



（サポート校の授業料は、「無償化」や「育英会奨学金の貸付金」の対象外です。）

◇ 生活保護を受けていれば、高校の学費はいらない。

⇒ 生活保護制度では、申請すれば「高等学校等就学費」が支給され、授業料以外の学費も、ある程度はそれでまかなうことができます。

しかし、**その支給額だけでは十分ではありません。**

また、修学旅行費や予備校等の費用は、支給の対象外です。



◇ 奨学金は、「借金」だから借りたくない。

⇒ 奨学金は、無利子とはいえ、返済を前提にした「貸付」です。

生徒本人に返済の義務や、家族以外の連帯保証人が必要な場合もあり、申し込みに対して慎重になるのは当然です。

奨学金や資金貸付制度の利用については、その内容をしっかり確認し、**生徒本人も含め、ご家庭でよく検討したうえで、ご利用ください。**



◇ 奨学金(資金の借入)は、高校に入ってから考えればよい。

⇒ 入学後よりも、入学準備時の2月～3月に多額の費用が必要です。

また、多くの方が利用する「大阪府育英会の奨学金（予約募集）」の申し込みは、8月下旬から始まり、10月初旬が締め切りです。

奨学金・貸付金の利用検討や相談は、できるだけ早めに始めましょう。



奨学金、進学資金などの相談は、中学校 又は教育相談室(TEL:426-1035 平日9時～17時)へ